

科目名	社会科・公民科教育法Ⅰ【社福】					開講 キャンパス	神 埼
担当者	松 尾 正 幸						
開講年次	3	開講期	前期	単位数	2	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい	社会認識教育という基本原理に立脚しながら、中学校社会科教育と高校公民科教育について、これらの各段階での歴史、目標、内容、方法、評価等についての基礎的知識を教授し、学習指導要領と全国版教科書にもとづく標準的授業実践の力量を育成する。同時に社会科・公民科教育法Ⅱの受講へのレディネスを形成する。						
授業の 到達目標	1) 中学校社会科教育と高校公民科教育についての基礎的な知識を理解できる。 2) 社会科教育と公民科教育の諸問題にアプローチする力量を身につけることができる。 3) 中学校社会科と高校公民科の指導案を作成することができる。 4) 社会科と公民科の指導の基礎となる社会諸科学の方法論を身につけることができる。						
学習方法	講義、発表、学習指導資料検討、討議、輪読						
テキスト及 び参考書等	社会認識教育学会編「中学校社会科教育」学術図書出版社、2008年 社会認識教育学会編「公民科教育」学術図書出版社、2008年						
評価基準・方法	到達目標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験	◎	◎				60	
小テスト等	○					10	
宿題・授業外レポート				◎		10	
授業態度			○			5	
受講者の発表				○		5	
授業への参加度			○			10	
その他							
合計						100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画 (学習内容・キーワードとスケジュール)							
第 1 週	オリエンテーション (戦前と戦後の社会認識教育の歴史について)						
第 2 週	中学校社会科の目標						
第 3 週	高校公民科の目標						
第 4 週	中学校社会科の内容 (歴史的分野)						
第 5 週	中学校社会科の内容 (地理的分野)						
第 6 週	中学校社会科の内容 (公民的分野)						
第 7 週	高校公民科の内容						
第 8 週	中学校社会科の方法						
第 9 週	高校公民科の方法						
第 10 週	中学校社会科の実践 (地理的分野の授業)						
第 11 週	中学校社会科の実践 (歴史的分野の授業)						
第 12 週	中学校社会科の実践 (公民的分野の授業)						
第 13 週	高校公民科の実践 (政治・経済の授業)						
第 14 週	高校公民科の実践 (倫理・現代社会の授業)						
第 15 週	中学校社会科教育と高校公民科教育の評価について						
第 16 週	定期試験						
備考							